

HDMI High Speed (HDMI 1.3) 対応HDMI信号分配器

ROOTY HD SP4 RII **HDMI SPLITTER UNIT**

取扱説明書

この度は、「ROOTY HD SP4/RII」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品を安全にご使用いただくため、本機をご使用になる前に、本書をよくお読みください。

本書の3～11ページには本機をご使用いただくための、最低限守らなければならない事項が書かれていますので必ずお読みください。

もくじ

ページ

もくじ	2~3
使用上のご注意と警告・禁止事項(重要)	3~6
ACアダプターに関する注意事項	6
正しい設置方法	7
その他ご注意いただきたいこと	7
業務や設備で使用されるお客様へ	8
お客様の安全と健康のために	8
保証に関して	9
保守期間とお問い合わせに関して	9
はじめに	10
ROOTY HD SP4/R IIとは	10
本書でのHDMI規格の表記にご注意ください	10
同梱品一覧	11
接続に必要な物	11
■接続ケーブルを別途ご購入ください	11
本機に接続できる機器	12
■本機に映像・音声を入力可能な機器	12
■本機の出力端子に接続可能な映像機器(表示装置)の例	12
■ご利用機器に関するアドバイス	12
対応できない、または動作保証できない機器や信号	13
ROOTY HD SP4/R IIの各部名称と解説	14~15
実際の接続例と解像度優先スイッチの利用方法1	16
■仕様の異なるテレビを接続した場合	16
■解像度優先スイッチに関するご注意	16
実際の接続例と解像度優先スイッチの利用方法2	17
■仕様の異なるテレビとAVアンプを接続した場合	17
■解像度の違いに注意	17
解像度の違う機器が接続された場合	18~19
■HDMI端子で分配を行ったときに発生する仕様上の制約	18~19
各機器との接続	20~22
■接続の前に確認しましょう	20
■接続手順	21~22
画面が表示されない、音声がでないとき	23
入力ケーブルの長さ	23
出力ケーブルの長さ	23

ROOTY HD SP4/R II を接続した際の制限事項	24
■HDMIの規格についてよくご理解ください	24
■HDMIでの画面の解像度優先順位	24
■最大解像度の異なるテレビなどを複数接続した場合の動作	25
●解像度の動作	25
●自動認識ではどうしても音や映像が出ないとき	25
■必ずHDMI端子を持つ機器を接続してください	26
■HDMIケーブル接続時にできるだけしない方が良いこと	26
■HDMIの表示装置には音声出力が無い機器が存在します	26
■映像機器やゲーム機の解像度の「自動」設定に関して	27
■テレビやAVアンプなど本機の出力側の端子に接続されている機器の電源(どれか1台)を切れば解像度情報を他の機器の物に切替えることができる?	27
■推奨しない接続例	28
■HDMIケーブルや機器の相性による不具合について	29
■希に画面が点滅したり、画面に星ノイズが発生する、音が途切れてしまう	29
■HDMIケーブル延長に関してアドバイス	30
仕様	31
トラブルとQ&A	32～39

使用上のご注意と警告・禁止事項(重要)

本機は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。下記に記されている「本機」とは、製品本体、ACアダプターなどを含む製品のことです。

<警告：煙が出たら！>

使用中に、本機から煙が出たり、変な臭いがするときは、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」または、「マイコンソフト株式会社 ユーザー・サポート係」までご連絡ください。そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。

<警告：お子様に注意>

本機をお子様のおられる場所で使用したり、設置しないでください。また、お子様の触れない場所に本機(付属品を含む)を保管してください。特に、電源ケーブルの取り扱いには十分お気つけください。小さなお子様がおられる場所では特に注意が必要です。

<警告：本体やACアダプターを振ると大きな音がする時>

製品には万全を期しておりますが、本体を振って、部品が外れているような大きな音がする場合は、すぐに使用を中止し弊社へご連絡ください。

<禁止：ぬれた手でさわらない>

本機をさわるとき、ぬれた手でふれないでください。
ぬれた手で触ると、感電の恐れがあり、たいへん危険です。

<禁止：家具や暖房器具などに注意>

本機やケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。
また、ストーブやエアコンなどの発熱する機器の側で設置・使用しないでください。

<設置環境に注意>

本機の上や下に布を置いたり、テレビの上やAVラックの中に設置するなど、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。本機は発熱しやすい機器ですので、設置状態や設置場所には注意が必要です。

<注意：発熱注意>

本機を長時間使用すると、本体やACアダプターが高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。
特に、端子などの金属部が熱くなることがあります。

<禁止：分解・改造禁止>

分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造後の保証・修理はいたしません。分解・改造によって人体に甚大な被害を被ったり、怪我・感電・発火に至ることがあります。

<禁止：直射日光>

本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。製品寿命の低下、動作不良、ケースが変形・変色するなどの症状が発生する恐れがあります。

<禁止：衝撃禁止>

本機は精密機器です。使用中や輸送時に強い衝撃を与えたり、ケーブルを引っ張るなど激しい取り扱いはしないでください。ACアダプターなど付属品も同様です。

<禁止：屋外設置は禁止>

本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外

など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。

<注意：ホコリ・油煙・火山性ガス・塵・塩分は注意>

本機を、ホコリの多い場所や油煙のある場所では使用しないでください。故障や漏電、発火の恐れがあります。

本機を、火山のある地域や温泉地域で使用されると、火山性のガスや塵の影響で、部品が腐食し、製品が故障することがあります。また、海の近くなどで、塩分の含まれる空気に接すると部品が腐食し、製品が故障することがあります。

<禁止：異物挿入禁止>

本機の穴などから、異物を入れないでください。また、間違えて異物が入ってしまった場合は弊社へお問い合わせください。

<注意：雷注意>

雷が光り出したら、ACアダプターをコンセントから取り外してください。

雷の電気が、電源コンセントを伝って、本機に流れ込むことがあり、感電の恐れがあります。なお、本機の操作中またはACアダプターの脱着中に、天災(例えば落雷)によって受けた損害・被害は弊社は保証いたしません。

<禁止：ケーブルを持って引っ張らない>

ケーブルを取り外すときなどに、コードを引っ張らないでください。

ケーブルの抜き差しは、必ず本体を手でしっかり固定し、ケーブルのコネクタ部(樹脂部)を持って行ってください。

※ 端子の金属部分には電気や信号が流れており、感電する恐れがあるため触らないでください。

<禁止：水場で使用禁止>

本機を、水を多く使う場所(お風呂や洗面所、キッチンなど)では絶対にご使用にならないでください。

本機に水がかかったり、製品内部に水が侵入すると、漏電、感電、火災、故障の原因となります。本機は防水処理されておられません。

<禁止：AC100V 以外は禁止>

本機は同梱の専用ACアダプターをAC100V(50/60Hz)の電源コンセントに接続して使用します。AC100V以外の電源コンセントには絶対に接続しないでください。AC100V以外の地域(日本以外の地域)で使用する可能性がある場合は注意が必要です。

<注意：ケーブルを接続する時は電源オフまたはスタンバイにする>

ケーブルの脱着は、必ず接続している全ての機器の電源を「オフ(切)」、または「スタンバイ(待機)」の状態で行ってください。接続している機器の電源が「オン」のときにケーブルなどを脱着すると画面が映らなくなることがあるだけでなく、ショートなどをおこし、各機器が故障する恐れがあります。

<注意：結露に注意>

本機を寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むなど、急激な温度変化により、部品や本体表面に水滴がつく(結露する)ことがあります。

水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、漏電、火災の原因となります。結露した場合は、一定時間経過してから使用してください。

<注意：ペットにご注意ください>

ペット(動物)の居る部屋では設置・使用しない、もしくはペットの触れることのできない場所に設置してください。

ペットがケーブルをかじるなどして傷を付けたり、糞尿が製品にかかってしまうと、ショートや発火、漏電、故障の原因となります。

ACアダプターに関する注意事項

- 本機を長期間ご使用にならないときは、本機のACアダプターをACコンセントから取り外してください。製品には万全を期しておりますが、安全を考慮し、使用しないときは本機のACアダプターをACコンセントから取り外すことをおすすめします。また、本機のACアダプターは本体が接続されていなくても、ACコンセントに接続されているだけで若干の電気を消費しますので、長期間使用しないときはACアダプターを取り外した方がより安全で電気代も節約できます。
- 分解しないでください。感電・火災の原因となります。
- 同梱のACアダプターは必ずROOTY HD SP4/R IIでご使用ください。他の機器でご使用にならないでください。故障・感電・火災の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。感電・火災の原因となります。
- 濡らしたり、濡れた手でACアダプターに触れないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中のACアダプターを布などでおおったり、包んだりしないでください。火災・発熱の原因となります。
- 短期間の間にコンセントの抜き差しを繰り返さないでください。故障の原因となることがあります。

正しい設置方法

- 本機は地面に対して水平に設置してください。

正しい設置方法



その他ご注意いただきたいこと

- アロマランプなどアロマ関連の装置を本体やACアダプターの近くで使用しないこと。アロマランプの成分が本体内部やACアダプター内部に蓄積(付着)し、ショートや発火、漏電、故障の原因となります。
- 接続する端子や接続方法を間違えると、本機や接続した機器が故障する恐れがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。
- 本機を本来の目的以外の用途に使用しないでください。
- 車載でご使用いただいた場合の保証はいたしかねます。
- 本機や各機器を取り扱う際(特にケーブルの抜き差し時)は、事前に鉄の棒や鉄板などをさわり、体にたまっている静電気(電気)を取り除いてください。静電気は本機だけでなく接続する全ての機器の故障の原因となります。
- 長時間映像を表示し続けると、テレビやディスプレイ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しないときは、テレビやディスプレイの電源をオフにするか、本機の電源をオフにすることをおすすめします。プロジェクション方式のテレビやディスプレイでは、焼き付きが起こりやすいので特にご注意ください。弊社では、表示機器への画面の焼き付きが発生した際のいかなる保証もいたしません。

業務や設備で使用されるお客様へ

- 本機は、業務用途での使用(例えば数年間電源を切らずに連続使用するなど)を前提として設計されておりませんので、製品寿命や耐久性において、お客様の満足がいかないことがあります。
このため、他機器(産業用機器や製造装置など)へ組み込み込んで出荷するなど、業務用途で長期に連続稼働が必要とされるシステムへの安易な導入はお薦めできません。やむを得ず本機を使用しなければならないときは、保守可能な期間をご理解いただいた上、「故障時や生産終了時の代替機材を各自で事前に準備しておく」、など十分考慮の上でご検討ください。なお、本機が故障した場合に発生した二次的な損害に関しては、弊社では保証できません。また、本機が故障した際、修理中の代替機などをご用意しておりません。
- 本機は一般的なオフィス(工事現場や倉庫などではない)や家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途に使用しないでください。
- 本機を、通気性、ホコリ、安全面、メンテナンスなどの問題から屋根裏や床下など手の届かない場所に設置することはお薦めできません。

お客様の安全と健康のために

お客様が、テレビ画面やディスプレイ画面の「点滅」、「激しい色の変化」、「激しい動き」を見ると気分が悪くなるような体質をお持ちの場合は、本機の使用をご遠慮ください。大画面のテレビやディスプレイをご使用の際は特に注意が必要です。また、画面を見るときは、部屋を明るくし、できるだけテレビやディスプレイから離れてください。また、暗い場所で長時間画面を見ることは避けてください。小さなお子様や、体調の悪い方は特に注意が必要です。

保証に関して

- 本機の保証期間は、保証規定に従いお買い上げ日から6ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。
- 本機を日本国以外の国や地域で使用した際の事故、故障、損害に関しましては保証できません。保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
- この取扱説明書の指示に従わずに発生した、いかなる事故、損害に関しても、弊社は一切責任を負いません。

保守期間とお問い合わせに関して

- 本機のサポート期間は、生産完了後5年間とさせていただきます。それ以降は、部品などの供給の問題から修理できない事があります。なお、代替部品で修理が可能な場合は、修理可能ですので、故障した際は、まず弊社へお問い合わせください。
- 本機の仕様や概観を改良のため予告なく変更する場合があります。また、予告なく本機の生産や販売を終了する事があります。ご了承ください。
- どうしても本機が正常に動作しないときや、操作がよく分からないとき、本書をご覧になっても解決できない問題は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。
- 本機を長期間ご利用になって、画面が乱れがちになってきたり、お客様側で故障の可能性があると判断したときは、できるだけ早く本機のご使用を中止していただき、弊社へご相談ください。故障したままご使用になりますと、故障箇所が各部に広がってしまうことがあり、最悪の場合、製品を修理できなくなる恐れがあります。

はじめに

この度は「ROOTY HD SP4/R II」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、「ROOTY HD SP4/R II」を正しくご使用いただくための接続方法や操作方法が書かれておりますので、本機をご使用になる前によくお読みください。

ROOTY HD SP4/R II とは

ROOTY HD SP4/R IIはHDMI信号を複数の映像機器に分配するための分配器です。HDMI 1.3の映像と音声を4分配して出力することが可能です。

- HDMI信号の4分配が可能
- HDMI HIGH SPEED (HDMI 1.3) のパススルーに対応
 - 1080p
 - Deep Color
 - x.v.Color
 - HDサラウンド音声 ※1
 - CECによるリンク機能のパススルー(出力1のみ)
- 解像度優先スイッチを装備

※1：ほとんどのテレビのスピーカーはステレオ2chのため、サラウンド機能使用時はテレビ側のスピーカーから音声を正常に聞くことができません。

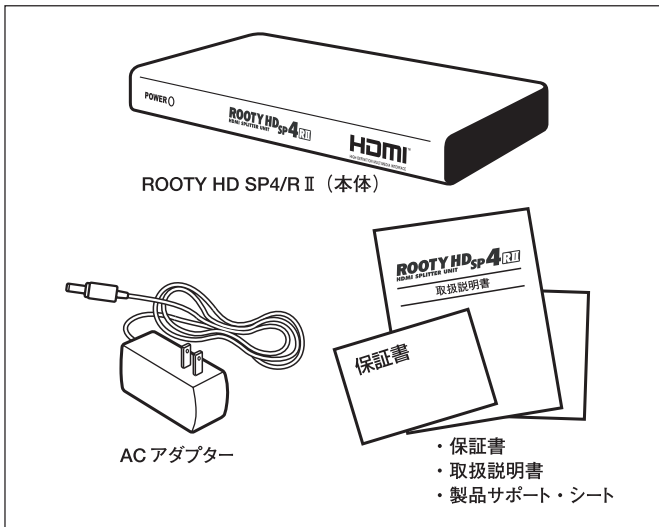
本書でのHDMI規格の表記にご注意ください

「HDMI HIGH SPEED」という表記は「HDMI 1.3」及び「HDMI 1.4」の規格で利用される表記方法です。

しかしながら、本製品で対応可能なHDMI規格は「HDMI HIGH SPEED」に含まれる規格の内、「HDMI 1.3」のみです。このため、本書では「HDMI 1.4」の規格と区別し分かりやすく表記するため、特別な理由がない限り「HDMI HIGH SPEED」とは記述せず「HDMI 1.3」と表記しています。また同様に「HDMI STANDARD」の規格は「HDMI 1.2」と記述しています。

同梱品一覧

本パッケージには、以下の物が同梱されております。ご使用前にご確認ください。製品には万全を期しておりますが、万が一、欠品などがございましたら、ご使用前に弊社までご連絡ください。



接続に必要な物

接続ケーブルを別途ご購入ください

本製品には映像機器を接続するためのHDMIケーブルが付属しておりません。HDMIケーブルは、電気店や家電量販店のAVアクセサリ・コーナーにてお買い求めください。

なお、ご利用いただくケーブルは、HDMI High Speedケーブル[カテゴリ2] (HDMI 1.3)以降のHDMI認証に合格した製品をご利用ください。接続されている機器がHigh Speed対応の機器の場合は、Standard HDMIケーブル(HDMI 1.2対応品)を使用すると、信号を正しく視聴できなかったりCECによるリンク機能が正しく働かないことがあります。ご利用いただけるケーブルの長さの制限などに関しては23ページと30ページをご参照ください。

本機に接続できる機器

本機に映像・音声を入力可能な機器

本機には図1のHDMI出力端子を持つHDMI 1.3規格の機器に対応可能です。

- HDMI出力端子を持つビデオ・レコーダー。
- HDMI出力端子を持つビデオディスク・プレイヤー。
- HDMI出力端子を持つ家庭用ゲーム機。
- HDMI出力端子を持つデジタルビデオ・カメラ。
- HDMI出力端子を持つデジタル・カメラ。
- HDMI出力端子を持つパソコン。

図1：HDMI端子(タイプA 19ピン)



本機の出端子に接続可能な映像機器(表示装置)の例

本機には図1のHDMI 1.3に対応したHDMI入力端子を持つ下記の機器を接続することができます。

- HDMI入力端子を持つテレビやプロジェクター、ディスプレイ。
- HDMI入力端子を持つAVアンプやホームシアターシステム。

参考：出力側に接続可能な機器は、入力側の機器の映像や音声を直接HDMIケーブルで接続して利用可能な機器に限ります。

ご利用機器に関するアドバイス

快適にご利用いただくには、可能な限りテレビやプロジェクター、AVアンプの映像仕様を統一してください(1080p対応、DeepColor対応など)。

1080p対応でもHDMI 1.3やDeepColorに対応していない機器もあるのでご注意ください。

解像度や仕様の異なる機器を複数接続すると映像を同時に表示できないことがあります。

対応できない、または動作保証できない機器や信号

本機は下記のHDMI規格の信号には対応していません。

- HDMI 1.4の信号を出力する機器の信号。
- HDMI HIGH SPEED with Ethernetの信号。
(HDMI 1.3またはHDMI 1.4でEthernetに対応した信号)
- HDMI STANDARD with Ethernetの信号。
(HDMI 1.2でEthernetに対応した信号)
- HDMI STANDARD with AUTOMOTIVEの信号。
(車載用のHDMI規格の信号)
- オーディオリターンチャンネル(ARC)の信号やそれらの信号を利用した機器には対応できません。
- デュアルリンク接続を必要とされる機器の信号。
- HDMI 1.3に対応した信号であっても帯域幅が225MHzを超える信号に関しては動作保証できません。
- 3D表示や4K2Kの信号。
- DVI端子から出力された信号(HDMIへの変換ケーブルを使用して接続した場合)。
- DisplayPortなど別の規格の信号を何らかの方法でHDMI信号に変換した信号。

ROOTY HD SP4/R II の各部名称と解説

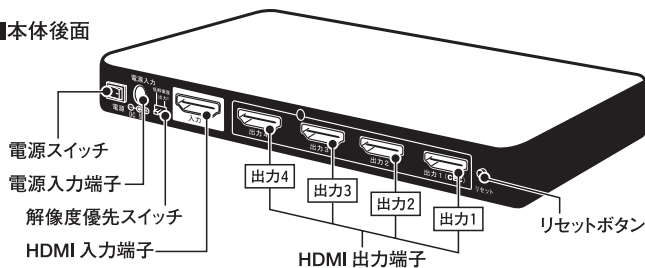
ROOTY HD SP4/R II の各部名称と機能は下記の様になっています。

■本体前面



電源ランプ

■本体後面



電源スイッチ

電源入力端子

解像度優先スイッチ

HDMI 入力端子

出力4

出力3

出力2

出力1

HDMI 出力端子

リセットボタン

電源ランプ(POWER)

本機にACアダプターが接続されて通電しているときに点灯します。このランプが点灯しているときは、ROOTY HD SP4/R II の電源が「オン(入)」になっています。

電源スイッチ

本機の電源「オン(入)」/「オフ(切)」を操作するスイッチです。

電源入力端子

同梱のACアダプターを接続して電源を入力する端子です。必ず、同梱のACアダプターをご使用ください。

HDMI入力端子

HDMI出力端子を持った機器をHDMIケーブルで接続する端子です。HDMIのデジタル映像と、デジタル音声を入力することができます。接続できる機器は1台のみです。

HDMI出力端子(出力1～出力4)

HDMI入力端子を持った機器(テレビやプロジェクターなど)をHDMIケーブルで接続する端子です。HDMIのデジタル映像と、デジタル音声を出力することができます。接続できる機器は最大4台です。出力1はCEC機能のパススルー接続に対応しています。

リセット・ボタン

現在本機で認識している解像度情報(EDIDの情報)をテレビなど、出力側の機器から再取得します。

ご注意：リセットボタンを押してテレビなどの解像度情報(EDIDの情報)を再取得しても、本機の入力端子に接続している機器(例えばDVDレコーダーやゲーム機)を再起動、もしくは解像度の再認識をさせない限り、解像度情報を正しく反映させることはできません。

解像度優先スイッチ

出力側のHDMI端子(4個のHDMI端子)に接続されている機器の内、「最も低い解像度」を使用するか、「出力1」の機器の解像度を優先するかを選択できるスイッチです。

「低解像度」

接続されている機器の内、最も低い映像解像度と音声解像度を利用可能になります。

「出力1」

接続されている機器の内、「出力1」接続されている機器の映像解像度と音声解像度を利用可能になります。

- ※ 解像度優先スイッチは、本機と本機に接続している各機器の電源をすべて「オフ(切)」または「スタンバイ(待機)」の状態にして操作してください。
- ※ 本機や本機に接続している各機器の電源が「オン(入)」の状態で解像度優先スイッチを操作してしまった場合は、本機と本機に接続している各機器をすべて再起動する必要があります。
- ※ 解像度優先スイッチは、本機の入力端子に接続されている機器(DVDレコーダーやゲーム機)のHDMI解像度認識の設定が「自動」の場合のみ利用可能です。

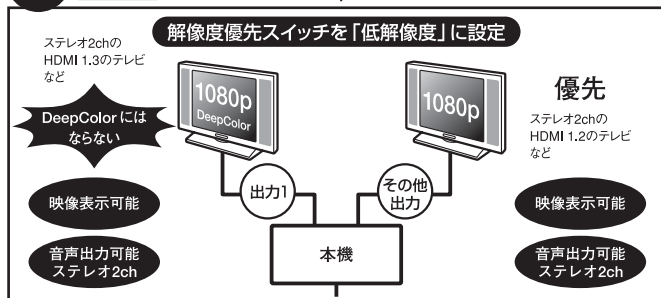
実際の接続例と解像度優先スイッチの利用方法 1

実際に機器を接続した場合を想定して、解像度などの動作を下図にて確認してみましょう。分かりやすく解説するためにまずは2台接続した状態で解説いたします。

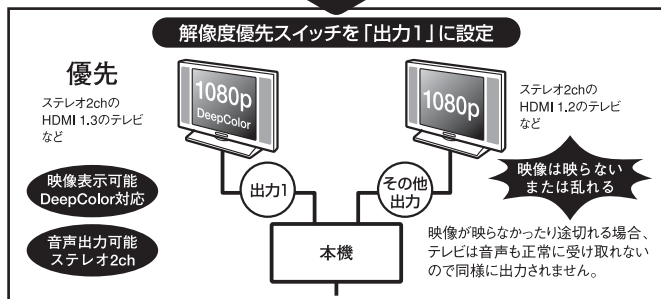
仕様の異なるテレビを接続した場合

接続例

出力1 スtereo 2chの1080p HDMI 1.3 DeepColor対応テレビ
 その他出力 スtereo 2chの1080p HDMI 1.2の対応テレビ



DeepColor機能を使用したいとき



ご注意：CECによるリンク機能は「出力1」の端子でのみ使用可能です。

解像度優先スイッチに関するご注意

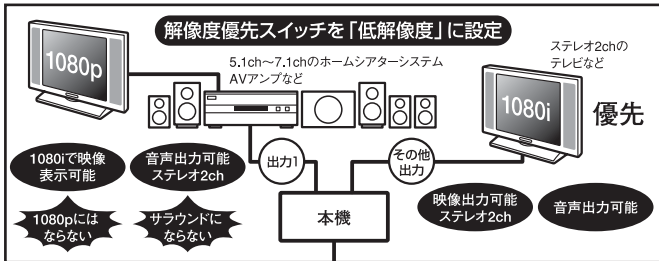
解像度優先スイッチは、必ず本機、及び接続している全ての機器の電源を「オフ(切)」または「スタンバイ(待機)」にした状態で操作してください。本機や、各機器の電源が「オン(入)」の状態ですwitchを切り替えると、解像度情報(EDIDの情報)を各機器に正しく反映できないため、映像の乱れや、音声の乱れが発生することがあります。

実際の接続例と解像度優先スイッチの利用方法2

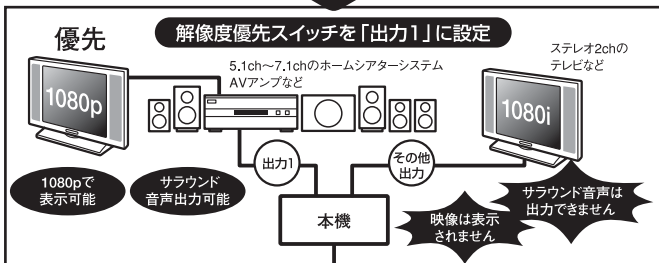
サラウンド音声はどのようになるでしょうか？下図を参考にしてください。

仕様の異なるテレビとAVアンプを接続した場合

接続例 出力1 ホームシアターシステム+FULL HD (1080p) 対応テレビ
 その他出力 ステレオ2chの1080i対応テレビ
 ※あくまでもテレビとAVアンプの映像解像度設定が同じ仕様である場合。



5.1ch~7.1chのサラウンド機能を使用したいとき



参考：音声サラウンドで再生されている場合、「AVアンプでサラウンド音声を再生させながら、テレビのスピーカーからも正常に音声を出力する」ということはできません。一般的にテレビはステレオ2chの音声しか対応していないためです。なお、一部のテレビでは5.1chなどのサラウンド音声に対応している機種があります（HDサラウンドの解像度には対応していません）。

ご注意：CECによるリンク機能は「出力1」の端子でのみ使用可能です。

解像度の違いに注意

旧型の液晶テレビやパソコン用ディスプレイにHDMI端子が付いた機種ではHDMI端子がHDMI 1.2までしか対応していなかったり、DeepColorなどの広帯域の信号に対応していないことがあります。このようなテレビやディスプレイにHDMI 1.3やDeepColorの様な広帯域の映像を入力すると画面が乱れたり、表示されないことがあります。また音声信号は映像信号に含まれて伝送されるため、映像が映らない場合は音声も鳴りません。

解像度の違う機器が接続された場合

■HDMI端子で分配を行ったときに発生する仕様上の制約

HDMIでは映像の解像度と音声の解像度が存在するため、接続方法の違いや機器の性能の違いによって制約が発生します。

本機に接続している各機器の映像や音声の解像度が異なると、下記、及び次ページの様な問題が発生します。

このため、お客様がご検討のシステム(理想のシステム)を必ずしも構築できない場合がありますのでご了承ください。

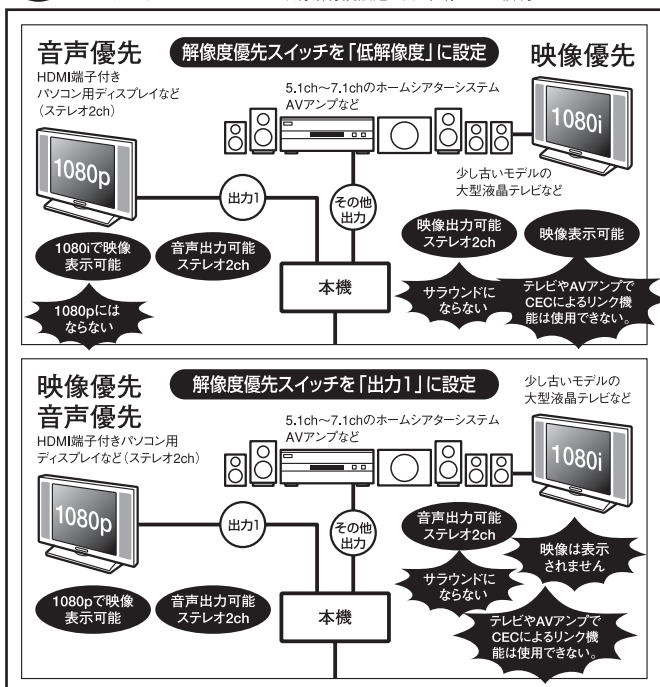
ここでは、よくある接続例を挙げて解説いたします。

接続例

出力1 スtereo 2chのHDMI端子付き1080p対応パソコン用ディスプレイ

その他出力 ホームシアターシステム+1080i対応テレビ

※あくまでもテレビとAVアンプの映像解像度設定が同じ仕様である場合。



このような接続ですと

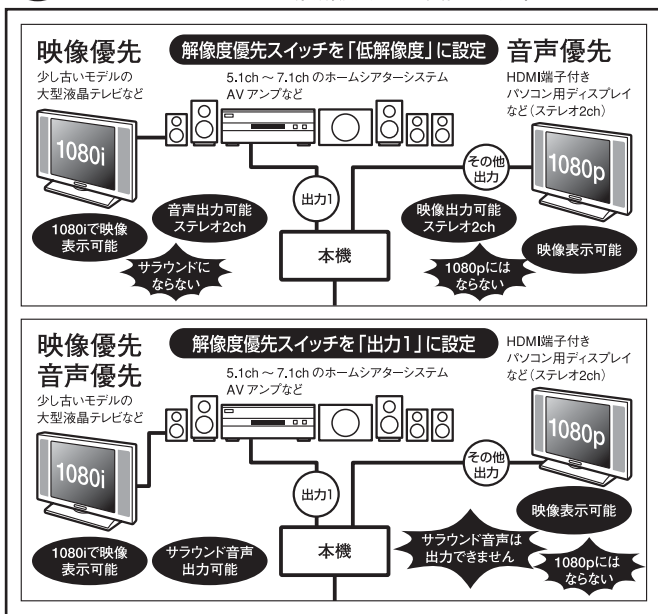
- ・サラウンド音声を利用できません。すべてステレオ2chになります。
- ・テレビやAVアンプでCECによるリンク機能は使用できません。
- ・2つのテレビに同時に表示するには1080iで表示する必要があります。

HDMIでの分配においては、DeepColorやx.v.Colorなど映像の機能を統一し、なおかつ映像の解像度(1080pなど)が同じテレビやプロジェクターを使用することを推奨します。

ただし、AVアンプなどは一般的に2台購入することは難しいので、音声に関しては、仕様や解像度の統一をすることは難しいでしょう。このため、音声に関しては、サラウンド音声/ステレオ音声2chを切替えて対応するしかありません。

例えばテレビやプロジェクターの仕様がまったく同じであれば、本機の解像度優先スイッチを切り替えても映像の解像度は変わらないので、このスイッチを音声解像度の切り替えスイッチとして利用できるというメリットがあります。もし映像の解像度を統一できない場合は、こういった利用法はできないので入力に接続している機器のサラウンド設定を手動で変更する、またはAVアンプのリモコンなどで音声モードを変更するなどの操作を行なう必要があります。

接続例 出力1 ホームシアターシステム+1080i対応テレビ
 その他出力 ステレオ2chのHDMI端子付き1080p対応パソコン用ディスプレイ
 ※あくまでもテレビとAVアンプの映像解像度設定が同じ仕様である場合。



この様な接続ですと1080pの映像は利用できません。

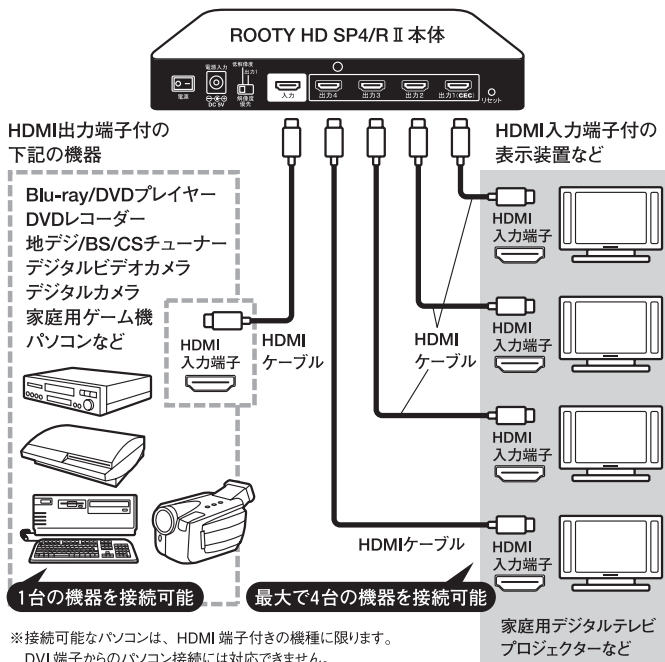
※図中のパソコン用ディスプレイにはHDMI端子と内蔵スピーカーが付いているものとします。

各機器との接続

ここでは、ROOTY HD SP4/R IIをご利用になるための、接続手順を解説いたします。下記および21～22ページの手順を参考にして、映像機器や、本機、表示装置の接続を行ってください。

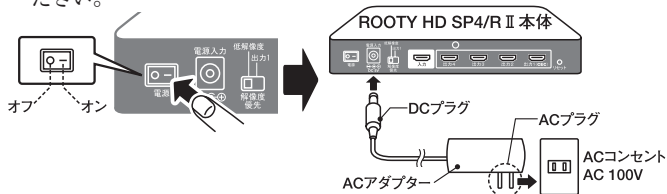
接続の前に確認しましょう

- 本機を接続される前に、HDMI信号を出力する機器と、HDMI信号を入力する機器(テレビなどの表示装置)を直接接続して映像が表示可能であることをご確認ください。
- HDMI映像を出力する機器の中には、出荷時の状態でHDMI信号の出力が「オフ(切)」になっていることがあり、映像や音声が出力されないことがあります。本機を接続する前に、HDMI信号の出力(映像と音声)を「オン(入)」に設定してください。
- 現在本機の電源が「オン(入)」になっているときは、本機の電源スイッチを「切(オフ)」にするか、ACアダプターを取り外してください。また、接続する機器の電源は「オフ(切)」または「スタンバイ(待機)」にしてください。



接続手順

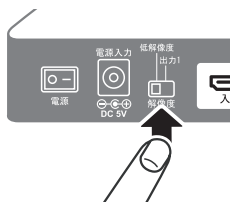
- ① 市販のHDMIケーブルを使用して、HDMI出力端子を持つ機器(ビデオレコーダーやゲーム機)を、本機の「入力」に接続します。
- ② 市販のHDMIケーブルを使用して、HDMI入力端子を持つ機器(テレビやプロジェクターなどの表示装置)を、本機の「出力1~4」に接続します。CECによるリンク機能を使用したい機器は必ず「出力1」に接続してください。
- ③ 本機の電源スイッチを「オフ」にして同梱のACアダプターを接続してください。



- ④ 必要に応じて「解像度優先スイッチ」を操作してください。

「解像度優先スイッチ」に関しては15ページ、及び25ページ参照。

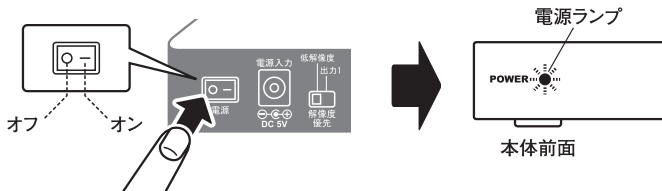
- ※ 「解像度優先スイッチ」は本機の入力端子に接続されている機器の解像度設定が「自動」の時のみ利用可能です。



- ⑤ 「出力1~4」に接続されている機器(テレビなど)の電源を「オン(入)」にします。

「出力1~4」に接続されている機器(テレビなど)の入力チャンネルがHDMIケーブルで接続されている端子のチャンネル「HDMI(など)」に設定されていることを確認してください。

- ⑥ 本機の「電源スイッチ」を操作し、電源を「入(オン)」にします。本体前面の「電源ランプ(POWER)」が点灯します。



- ⑦ 本機の「入力」に接続されている機器(DVDレコーダーやゲーム機など)の電源を「オン(入)」にしてください。

「入力」に接続した機器の映像が出力され、画面に正しく表示されたことを確認してください。接続した機器が正常に動作していれば、出力側の機器に映像が表示され、音声も出力されます。

画面が表示されない、音声が出ないとき

画面に何も表示されない、音声が出ないなどの場合は、一旦本機のACアダプターをACコンセントから取り外し、もう一度接続などを確認してください。ケーブル接続の際、入力と出力の端子を間違えやすいので、接続は念入りにご確認ください。原因に心当たりがない場合は24～30ページを参照してください。

入力ケーブルの長さ

あくまでも目安ですが弊社では、映像機器からROOTY HD SP4/R II への入力に関してはできるだけ短いケーブル(例えば2メートル以下)のHDMIケーブルの使用を推奨いたします。接続に関しては品質の良い物をご利用ください。なお、ご利用のケーブルや機器の特性によっては、これより短いケーブルでなければ正しく表示できないこともあります。

ケーブルの長さはご利用のケーブルや各機器の仕様に依存します。

出力ケーブルの長さ

あくまでも目安ですが弊社では、ROOTY HD SP4/R II から表示機器への出力に関しては3.5メートル以下のHDMIケーブルの使用を推奨いたします。接続に関しては品質の良い物をご利用ください。なお、ご利用のケーブルや機器の特性によっては、これより短いケーブルでなければ正しく表示できないこともあります。

ケーブルの長さはご利用のケーブルや各機器の仕様に依存します。

※ケーブルに関しては30ページもご参照ください。

ROOTY HD SP4/R IIを接続した際の制限事項 (知っておきたいこと)

ROOTY HD SP4/R IIやパソコンをご利用いただく上で仕様上、下記の制限がありますのでご了承ください。

■ HDMIの規格についてよくご理解ください

HDMI信号はアナログの映像信号と異なり「音声の解像度」という観念が加わります。厄介なのは1本のケーブル上に映像の解像度と、音声の解像度の2種類の解像度が存在することです。

アナログの映像や音声信号では、とりあえず接続すればなんらかの映像や音声が出ます。注意する部分があるとすれば映像の解像度のみです。

しかし、HDMI信号には音声の解像度も存在するため、仕様や機能の異なる機器にHDMI信号を分配した際に、音声を出力できない場合があります。

例えばステレオ2chのテレビとAVアンプを同時に接続するとAVアンプがステレオ2chになってしまったり、逆にAVアンプではサラウンドを利用できるがテレビから正常に音が出なかったり。という現象が発生します。

また複数の機器を弊社の想定しないような接続をされた場合、お客様の納得のいかない動作をすることがあります。このため、必ずしもお客様が想定されるような利用方法が実現できない場合がありますのでご了承ください。本機はHDMI信号を単に分配する機能しか持っていません。

このため、本機に入力された解像度の映像や音声に対応していない機器では映像を正常に表示できなかったり、音声を正常に鳴らすことができません。

■ HDMIでの画面の解像度優先順位

HDMI端子における映像の解像度の優先度は下記のようになっています。D端子の解像度表記で使用される「D1～D5」とは一致しません。このため、日本で販売される多くのビデオ・レコーダーやゲーム機に720pのテレビが接続されているは場合、自動認識させると最高解像度は1080iになります。720p対応のテレビで720pの解像度を利用したい時は手動で各機器の解像度を720pに設定してください。

[低] 480i < 480p < 720p < 1080i < 1080p [高]

■ 最大解像度の異なるテレビなどを複数接続した場合の動作

● 解像度の動作

本機に最大解像度の異なるテレビなどが複数接続されている環境では「解像度優先スイッチ」の動作によって下記の様に解像度の優先順位が決まります。

「低解像度」の設定の時

最も低い映像と音声の解像度を優先します。



「出力1」の設定の時

「出力1」の機器の解像度を優先します。



解像度優先スイッチが「出力1」に設定されている状態で、「出力1」の端子に何も接続されていない場合は、下記の順番で端子の接続を確認し、最初に見つかった機器の解像度情報が優先されます。

(優先)出力1 → 出力2 → 出力3 → 出力4

※ 解像度優先スイッチは、本機と本機に接続している各機器の電源をすべて「オフ(切)」または「スタンバイ(待機)」の状態にしてを操作してください。

● 自動認識ではどうしても音や映像が出ないとき

本機の出力側に接続している機器(例えばテレビやプロジェクター)の環境や機器の特性などで、どうしても映像や音が出ない場合は、お手数ですが本機の入力側に接続している機器(例えばDVDレコーダーやゲーム機)の設定メニューなどから映像や音声の解像度を手動で設定してください。

■必ずHDMI端子を持つ機器を接続してください

本機に、DVI端子やDisplayPort端子からの映像信号を変換するなどし入力した際の完全な動作、及び本機からの映像出力をDVI端子やDisplayPort端子付きのディスプレイなどに変換ケーブルやアダプターなどを使用し接続された際の動作保証はいたしかねます。

■HDMIケーブル接続時にできるだけしない方がよいこと

HDMIケーブルで機器を接続しているときは、各機器が「電源オン(入)」の時にHDMIケーブルを挿抜しないようにしてください。ケーブルを挿抜してしまった場合は、映像や音声为正しく表示されないことがあります。

このような症状が発生したときは、本機や接続している機器を一旦再起動する必要があります。HDMIにはホットプラグという機構が内蔵されており、起動時に挿抜しても動作や安全性に問題はありませんが、機器の安定動作のため、ケーブルの挿抜は各機器の「電源をオフ(切)」にしてから行うことを推奨します。なお、やむをえず本機の電源を切らずにHDMIケーブルを挿抜した場合は、本機の「RESET」ボタンを押した後、本機の入力側に接続している機器(DVDプレイヤーやゲーム機など)を再起動して、映像や音声の解像度情報(EDID情報)を再認識するようにしてください。

■HDMIの表示装置には音声出力が無い機器が存在します

一般的にプロジェクターは音声機能が無いため、音声の解像度設定が「音声出力無し(無音)」になります。プロジェクターが接続されている端子のEDID設定が優先されていると、どの機器からも音声は鳴らないはずですが、しかし一般的なゲーム機やDVDレコーダーの動作として、無音にはならず、最低限ステレオ2chで音声は出力されます。しかし、この動作はDVDレコーダーやゲーム機の仕様によって変わるため、全ての機器でステレオ2chの音声は出力できることを保証するものではありません。

どうしても音声を出力できない時は、DVDレコーダーやゲーム機の音声の設定を手動で変更し、音声を出力できるようにしてください。

■ 映像機器やゲーム機の解像度の「自動」設定に関して

HDMI出力端子を持つ機器は、接続されている機器の解像度情報を自動で認識し最適な映像や音声の解像度で出力します。しかし、すべてが全自動というわけではありません。

たとえば、これまでの機器に加え、「新たに本機の出力端子にテレビなどの機器を接続した場合」、「起動中にケーブルを挿抜した場合」、「解像度優先スイッチを操作し解像度を変更するなどした場合」は、本機や一旦接続しているすべての機器を再起動した後、映像出力する機器(ビデオレコーダーやゲーム機)の設定で出力側の機器を自動認識(または手動認識)させなくてはならないことがあります。

<参考>

上記の特性より、HDMI分配器は、同じ機器にずっと同じ信号を出し続ける用途には向いていますが、その日の用途やコンテンツによって信号(解像度)を使い分ける、といった用途には適していません。

■ テレビやAVアンプなど本機の出力側の端子に接続されている機器の電源(どれか1台)を切れば解像度情報を他の機器の物に切替えることができる？

複数接続されている機器の中のAVアンプやテレビなど任意の機器の電源をオフ(切)すれば、接続されている他のテレビやAVアンプなどの解像度情報が優先されるのではないかと一般的にはそう思われがちです。

しかしながら、HDMIなどの解像度を通信する方式(EDID)は機器の電源が切られていても通信可能であるため必ずしもお客様が考えられている様な動作をするとは限りません。つまり、一方の機器の解像度情報を完全に断つには出力側のHDMIケーブルを抜いて機器を再起動する以外に方法はありません。

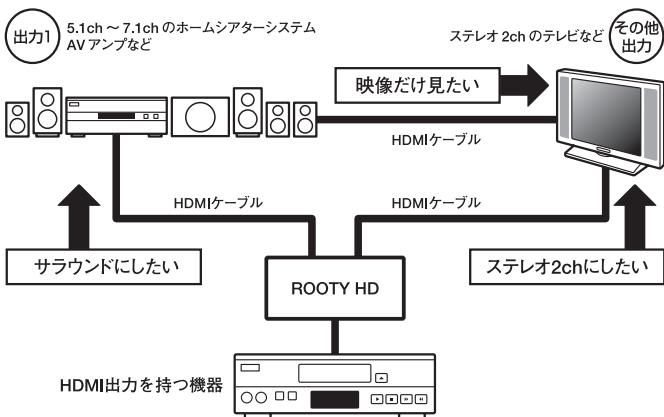
複数の機器が接続された状態で、解像度を自動で認識させる場合、映像や音声の解像度の設定が思うようにならないことがあります。

※ 異なる解像度の機器を接続した場合の動作例は18～19ページに記載されています。

■ 推奨しない接続例

「普段のテレビ放送やビデオ映像はステレオ」で、「映画はサラウンドで鑑賞したい」、というお客様の中には下記のような接続を検討されている方もいらっしゃると思います。しかし、弊社ではこの様な複雑な接続はお勧めしておりません。

本機とテレビ(またはプロジェクター)のケーブル接続を図に書いて「輪」になる様な接続を行った場合、解像度情報が思い通りにならず、お客様が想定されている理想のシステムを構築できないことがあります。



<お勧めできない理由>

- AVアンプの電源を使用しないときでもサラウンドの設定(EDID情報)が有効になってしまい、テレビから正常に音が出ないことがある。または逆にAVアンプ側がサラウンドにならないことがある(多くのテレビはリニアPCM2chしか対応していないため)。結局、DVDレコーダーなどの音声解像度を手動で変更する、もしくは一方のHDMIケーブルを抜くなどの操作が必要となり快適な解像度切り替えは実現できない。
- ステレオ↔サラウンドを切り換えるために毎回本機後ろ面の解像度優先スイッチを切り換えるなどの操作が必要になる。さらにスイッチを切り換えた後、本機や接続している機器を再起動しなければならない。場合によってはHDMI出力を持つ機器の解像度設定をリモコンなどで再設定する必要が出てくる。
- テレビとAVアンプの仕様が必ずしも同じではない場合があり、画面表示や音声に問題が発生する場合があります。

■ HDMIケーブルや機器の相性による不具合について

HDMIという規格は、HDMI Licensing,LLCという団体の規格であり、本来どの様な機器でも互換性が保たれるべきですが、HDMI端子を持つ機器でもHDMIコンプライアンステスト(HDMI認証)を受けていない物や、各メーカーが独自に保証する「HDMI準拠」をうたっている製品もあり、完全な動作を保証できないことがあります。また、機器によっては著作権対策のため分配器に対応していない映像機器があります。

なお、伝送品質の悪いケーブルを使用すると映像や音声を正しく分配できないことがあります。本機のご利用に際しては、HDMI 1.2専用のケーブルや、「昔買ったケーブルだけど、どんな仕様のケーブルだったか覚えていない」という様なケーブルはご利用にならない方が無難です。

ケーブルは、「HDMI 1.3対応」または「HDMI HIGH SPEED」と記載されたケーブル製品をご利用ください。

■ 希に画面が点滅したり、画面に星ノイズが発生する、音が途切れてしまう

「HDMI機器が複雑に組み合わせて接続されている」、「使用しているHDMIケーブルが長い」、などの場合、HDMI信号が劣化して「画面にノイズが発生」、「画面が点滅」、「音が途切れる」などの症状が発生することがあります。HDMIで伝送される信号はデジタル情報ですが、そのデジタル情報は高速なアナログの波形で伝送されています。

その速度は、例えばパソコン内部のCPUとIC同士の通信速度に匹敵するほど速いもので、端子の接触抵抗やケーブル延長により容易に劣化します。この「0」と「1」を表現するアナログの波形が崩れたり劣化してしまうと、デジタルデータが壊れてしまい、画面や音声に影響が発生します。もし、映像の乱れや音声の乱れが発生したら、まずは短めのHDMIケーブルで「DVDプレイヤー」→「本機」→「表示装置」といった簡素な接続で機器の動作をご確認ください。

■ HDMIケーブル延長に関してアドバイス

HDMIケーブルの延長は慎重に検討してください。

あくまでも目安ですが5mを超えるようなHDMIケーブルをご使用の場合は、イコライザー内蔵のケーブルを使用されることをお勧めいたします。特にプロジェクターなどを設置するため、ケーブルを伸ばす必要がある場合、ケーブルの選択には慎重な吟味が必要です。HDMI信号はとても高速であるため、ケーブルの品質に問題がある場合やイコライザーが無い場合、信号が劣化し「画面に乱れ(ノイズや点滅)」、「音声の途切れ」などが発生します。

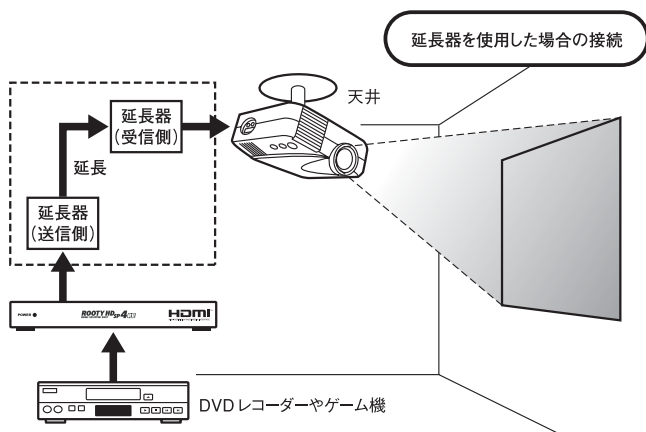
本機にもイコライザーは内蔵されておりますが、本機のイコライザー機能は微妙な信号の安定化する物であるため補正には限界があります。

ケーブルを延長される際は、イコライザー内蔵の延長器やイコライザー内蔵のHDMIケーブルの使用をお勧めいたします。

方法1：延長機能(イコライザー)内蔵のHDMIケーブルを使用する。

方法2：HDMI信号をそのまま延長できる延長器を使用する。

方法3：HDMI信号を一旦LANケーブルなどに交換する延長器を使用する。



本解説はあくまでもアドバイスであって、これらの延長器やケーブルを利用した際、必ず正しく動作するかどうかを保証するものではありません。

仕様

■本体仕様

入 力	19ピン・HDMI 端子 (Type A) 端子数：1 系統 (HDMI HIGH SPEED 対応) ※1 対応最大解像度：1920×1080ドット・ノンインターレス 信号帯域幅 225MHz TMDS 方式 (シングルリンク)
出 力	19ピン・HDMI 端子 (Type A) 端子数：4 系統 (HDMI HIGH SPEED 対応) ※1 対応最大解像度：1920×1080ドット・ノンインターレス 信号帯域幅 225MHz TMDS 方式 (シングルリンク)
電 源	専用 AC アダプターにより供給 電圧：DC 5V、最大消費電流：2A、最大消費電力：10W
本体寸法	横 185mm×高さ 25mm×奥行き 122.5mm (ボタン、コネクタ、ゴム足の凸部を除く)
重 量	本体：約 487g AC アダプター：約 121g ※重量は生産時期によって若干変わることがあります。

※1：HDMI 1.3規格の信号に対応。HDMI 1.4規格の信号には対応いたしません。

トラブルとQ&A

製品をご使用の際に問題が発生したときは、下記事項をご確認ください。また、製品に不具合が発生したときは、販売店様へ交換・お問い合わせをされる前に、まず弊社へお問い合わせいただき、本当に製品が故障・不良であるかどうか確認することをお勧めします。お問い合わせで解決する不具合もあります。

お問い合わせは、お電話または、弊社Webページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

■ 電源ランプ(POWER)が点灯しない

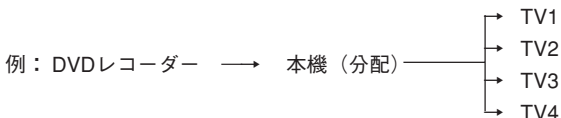
ACアダプターを接続して本機に電源を通電させても(本機の電源スイッチを「オン(入)」にしても)電源ランプ(POWER)が点灯しないときは、ただちにACアダプターを本機とACコンセントから取り外し、弊社へご連絡ください。この様な症状の時、電源に関する何らかのトラブルが発生している恐れがあります。そのままご利用になると、たいへん危険です。

■ 接続したが映像や音声が表示・出力されない。

- ・ 本機の「入力」側に接続している機器の設定でHDMI端子からの信号出力が「オン(入)」になっていますか？
機器によってはHDMI端子からの映像や音声の出力設定が初期設定で「オフ(切)」になっている事があります。
- ・ 本機や表示装置を起動(電源「オン」)する前に「入力」側の機器を起動(電源「オン」)していませんか？
入力側の映像機器をROOTY HD SP4/R II や表示装置(テレビなど)より先に起動すると、映像機器が映像を出力しないことがあります。
- ・ ケーブルなどは正しく接続されていますか？もう一度ご確認ください。
- ・ 本機の電源ランプ(POWER)は点灯していますか？
- ・ 本機の入力端子に接続している機器を再起動してみてください。
- ・ テレビなどの表示装置の入力チャンネルは「外部入力(HDMI)」に設定されていますか？

■映像や音声为正しく出力されない(画面の点滅やノイズ、音声の途切れが発生する)。

- ・ケーブルの伝送品質の問題が考えられます。もし長いケーブルをご利用の場合は別のメーカーの短いケーブル(1メートル前後の物)に変更してみてください。
- ・HDMI端子に何度も挿抜したHDMIケーブルを使用していませんか？例えば数百回を超えるような挿抜を行ったHDMIケーブルは端子の接点が悪化・疲労している恐れがあり、不具合の原因となることがあります。心当たりがある場合は確認のため新しいHDMIケーブルで接続し、検査してみてください。
- ・複雑な接続をしたり、分配器に分配器を増設する、AVアンプや切替器(セレクターなど)を複数接続するなど、信号が劣化しやすい接続になっていませんか？
まずは本機の正常な動作を確認するため、簡素な接続で動作を確認してください。



- ・DeepColorに対応したテレビやAVアンプと、HDMI 1.2までしか対応していないテレビやAVアンプを混在して本機に接続していませんか？DeepColorなどの高速な信号をHDMI 1.2などDeepColor未対応のテレビやAVアンプに入力すると、画面が表示されない、乱れる、音が途切れるなどの症状が発生します。まずは、HDMI 1.2のテレビやAVアンプの解像度が優先されるよう「解像度優先スイッチ」を「低解像度」に設定して本機や接続している機器の電源をすべて再起動してみてください。

参考：HDMI 1.3でx.v.Colorには対応していても、DeepColorには対応していないテレビが存在します。

■ROOTY HD SP4/R IIを再起動したら映像や音声が出なくなった。

- ・接続されている機器が電源「オン(入)」のときに本機の電源を「オフ(切)」にしたり、再起動しませんでしたか？
この様な症状のときは、まずテレビなど本機の出力に接続されている機器の電源を「オン(入)」にした後、本機の電源を「オン(入)」にし、「入力」側に接続している機器(DVDレコーダーやゲーム機)の電源を再起動する必要があります。

■ テレビのスピーカーから音が出ない、または正常に聞こえない

本製品にAVアンプやホームシアターラックが接続されていませんか？

テレビの多くはステレオ2ch(リニアPCM 2ch)にのみ対応しているため、AVアンプやホームシアターラックで5.1chなどのサラウンド音声を利用しているときテレビのスピーカーからは音声が出力されない、もしくは正しく聞こえなくなります(同じコンテンツでもサラウンド音声を利用していない場面ではテレビから正常に音声が出力されることがあります)。

テレビから音声を出力したいときは、本機の「解像度優先スイッチ」を活用したシステムを構築するか、機器やコンテンツの音声設定を手動でステレオ2ch「リニアPCM 2ch」などテレビに対応した音声解像度に変更して音声をお聞きください。

参考 家庭用テレビは、一般的にステレオ2chの音声に飲み対応しています。このため、テレビのスピーカーからサラウンド音声を聞くことはできません。
なお、テレビによってはサラウンド音声に対応した機種もありますが、その様な機種でもHDサラウンドの解像度に対応した機種はありません。

■ AVアンプやホームシアターラックで音が出ない。またはサラウンド音声にならない。

本機の出力端子の優先順位によっては、テレビなど低い音声解像度が優先される場合があります。

この場合テレビの音声解像度であるステレオ2ch「リニアPCM 2ch」が優先されてしまうため、5.1chなどのサラウンド音声を利用できません。

もしサラウンド音声を利用したいときは、本機の「解像度優先スイッチ」を利用するか、テレビを接続する端子を変更するなどの工夫をしてください。もしくはDVDプレイヤーまたはコンテンツの音声設定を手動でサラウンドに設定してください。

なお、サラウンド音声のコンテンツ利用時はテレビのスピーカーから音声を正しく出力できないことがあります。

■ 本体を振ると大きな音がするので。

本機を振って部品が外れているような音がする場合は、ただちに使用を中止し、弊社にご連絡ください。

■ DVI端子やDisplayPort端子を持つパソコンの映像が正しく表示されない(画面の点滅やノイズが発生する)。音声は鳴らない。

変換ケーブルや変換アダプターなどを利用して本機にパソコンを接続されている場合、正しく表示できなかつたり音声が出力されないことがあります。本機は、DVI端子の信号やDisplayPort端子から変換したHDMI信号には対応していません。パソコン本体にHDMI端子が直接内蔵されている機器のみ接続可能です。

(原因1)

EDIDの解像度情報や、同期信号のタイミングが全く同じではない可能性があります。

(原因2)

解像度(周波数や帯域幅を含む)が違う可能性があります。例えばお客様のディスプレイが1920×1080ドットに対応していても、それらがビデオ解像度の1080pと互換であるという保証はありません。

■ DVI端子やDisplayPort端子を持つディスプレイやテレビと接続すると映像を表示できなかつたり音声が鳴らない。

本機から出力される映像や音声を、変換ケーブルや変換アダプターなどを使用してDVI端子やDisplayPort端子を持つディスプレイやテレビに接続した場合、映像を正しく分配・表示できないことがあります。本機はDVI入力端子やDisplayPort入力端子を持つ表示装置には対応していません。

(原因1)

ご利用のディスプレイの仕様がHDMIの信号方式(解像度など)が互換ではない可能性があります。

(原因2)

解像度(周波数や帯域幅を含む)が違う可能性があります。本機の対応したHDMI信号の帯域幅は225MHz(DeepColorやHD音声に対応するため高速)ですがDVIの最大帯域は一般的に162MHzです。

■ 本体が熱くなるのですが、大丈夫でしょうか？

本機には発熱する部品が多く使用されています、このため本体がとてもし熱くなることがあります。お取り扱い時にはご注意ください。また、本機はできるだけ風通しの良い場所に設置してください。絨毯やマットの上や下など熱のこもりやすい材質の上に設置しないでください。

またACアダプターに関しても同様です。

■ ROOTY HD SP4/R IIの電源がオンの時ケーブルを一旦取り外したら映像や音声が出なくなった。

「本機の電源がオン(入)」または、「映像機器の電源がオン(入)」時に映像機器が起動中に本機の電源をオフにする」などの操作を行うと、機器から映像が出力されなくなることがあります。本機に接続されている機器が起動しているときにケーブルの挿抜や、本機の電源オフを行ってはいけません。この様な操作を行って画面が表示や音声がおかしくなった時は、「本機のリセットボタンを押す」、「本機の入力側に接続されている映像機器などを再起動する」、などの操作が必要になります。

HDMIにはホットプラグという機能があり、起動時にケーブルを挿抜しても良いという仕様になっていますが、機器の仕様によっては必ずしも映像が出力されるとは限りません。

電源起動中のHDMIケーブルの挿抜に関する動作保証はご容赦ください。

■ テレビとチューナーが分離型のテレビに接続すると正常に動作しない。

チューナー・ユニットとモニター部が分離した機種でその接続にHDMIケーブルを使用している機種があります。

チューナー・ユニットとモニター部の中間に本機を挿入すると、正しく動作しないことがあります。

■ CECによるリンク機能が希にうまく動作しない

CECによるリンク機能の操作は、機器の電源起動時または接続手順によっては、特定の機能が一時的に利用できなかったり、動作しないことがあります。その様なときは、本機や接続している機器の起動の順番を変えるなどして、リンク機能を試してください。

■ビデオカメラを接続すると録画が勝手に停止する

一部のビデオカメラを本機経由でテレビに接続すると、映像の「録画が停止する」などの現象が発生することがあります。

恐れ入りますがビデオカメラを接続しているときにこのような誤動作を確認された場合は、CECによるリンク機能は使用できません。申し訳ありませんが、ビデオカメラ側のCECによるリンク機能の設定を「オフ」にしてください。

■テレビの音声解像度に関して

テレビによって対応する音声解像度が異なる場合があります。

一般的にテレビのスピーカーはステレオ2chなので、ステレオ音声しか出力できません。

しかし、テレビ（特に大型のテレビ）の機種には5.1chなどのサラウンド音声を再生可能な機種があります。ステレオ音声のみ対応のテレビと、サラウンド音声にも対応したテレビが本機に同時に接続された場合、ステレオ2ch対応のテレビではサラウンド音声をスピーカーから出力することができません。

もし接続されている全てのテレビのスピーカーから音声を出力したい時は、本機の「解像度優先スイッチ」の設定を「低解像度」に変更する、もしくは本機の入力端子に接続している機器の設定機能で、音声をステレオ2chなどに変更してください。

これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。それでも問題が解決しなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に弊社までお送りください。

保証規定にそって無料で検査・修理いたします。(修理をご依頼の際は、本体・ACアダプター、保証書・製品サポート・シートなどの同梱品を必ずお送りください。)

ただし、保証書が無い場合や、保証期間を過ぎてからの修理、保証期間内であっても故障の原因がお客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。動作不良の症状や故障の状況に関しては、添付の「製品サポート・シート」に詳しくご記入いただき、修理ご依頼の際に同梱してお送りください。

なお、修理にかかる時間は、場合によっては最長で2週間前後かかることがあります。

製品内容のご質問・修理のご依頼は下記までお願いいたします

〒541-0041 大阪府中央区北浜3丁目2番25号
 京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内
 マイコンソフト株式会社
 TEL 06-6203-2827

弊社Webページの「サポート・フォーム」からもお問い合わせ可能です。また、お問い合わせの多いご質問は、弊社Webページにて閲覧可能です。

弊社WebページURL <http://www.micomsoft.co.jp/>

修理ご依頼時の送付・梱包に関して

- 原則としてお客様から弊社へ製品をお送りになる際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。ただし、初期不良の際の送料に関しては、発送前にお電話などで弊社にお問い合わせください(事前のご連絡無しに送料着払いで製品を発送されることはご遠慮ください)。なお、弊社から、お客様へ製品を発送する際の送料は弊社が負担させていただきます。
- 本機は精密機器です。発送の際は、「われもの」または「精密機器」として発送してください。また、発送時の梱包は、クッションで製品を包むなど、輸送時に衝撃が加わらないようご配慮ください。なお、輸送中の事故や衝撃による破損に関しましては、弊社は責任を負いません。
- 修理をご依頼の際は、必ず、「本体」と「ACアダプター」、「保証書」を一緒にお送りください。本体のみの送付や、ACアダプターのみの送付では、症状を確認できません。また、お手数でも付属のサポート・シートをご利用頂くなどし、発生している症状や接続している機器(映像機器やテレビなどのメーカー名や型番)の詳細をご記入ください。

<個人情報保護法に関する記述>

保証書や製品サポート・シートに記入されたお客様の個人情報は、ご購入いただいた製品の保証・サポートに利用される物であり、それ以外の用途に利用されることはありません。なお、お客様の個人情報は、利用目的の達成に必要な範囲内においてその取り扱いの全部または一部を第三者に委託することがあります。第三者に委託する場合には、お客様の個人情報の適切な管理が図られるよう、委託先に対して必要かつ適切な監督を行います。

<商標に関する記述>

- HDMI、HDMIロゴ及びHigh Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing,LLCの商標または、登録商標です。
- その他、本書に記載された商品名及び会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中では、TM、®マークは基本的に明記していません。



製品内容・トラブル・修理に関するお問い合わせ先

マイコンソフト株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号
京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内
TEL 06-6203-2827

マイコンソフトWeb ページURL  <http://www.micomsoft.co.jp/>

販売・流通に関するお問い合わせ先

株式会社 電波新聞社

〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15
TEL 03-3445-8201 (販売部・ダイヤルイン)